

第5回 グループホーム北陽運営推進会議

日時：令和6年12月19日(木) 14:00～

場所：グループホーム北陽 2F ホール

参加者：

出雲市役所 高齢者福祉課	1名
川跡コミュニティーセンター	0名
鳶巣コミュニティーセンター	0名
協力医療機関 園山医院	0名
ご家族様	0名
グループホーム北陽	2名
ご利用者様	1名

※今回出席者の方の急遽欠席となり、参加が少なかったです。少人数での開催となりましたが、細かく質疑応答や様子がお伝えできたように思います。

協議事項

(1) 施設運営の状況報告

・現在1階9名 男性3名、女性7名。平均介護度2.7→2.6。平均年齢83才→84才。2階8名、男性1名、女性7名。平均介護度2 平均年齢89才→85才。(若年性認知症の方が2階へ入居。男性一名だが、高齢女性とお茶をすること仲良く話をする事が、自身の母と生活していたため好まれている。)それぞれが役割、自身のできることを発揮されています。

・行事について

実施	10月	ハロウィンパーティー、the men's キッチン 男飯 地元のおばんざい
	11月	秋の味覚

入居者様の状態より、1階は介助量が多く、個別での関わり、アクティビティが多いです。2階は集団のアクティビティを行っています。一人一人の役割や発揮できる部分を大切に、支援を行っております。

食事は基本的には主食と味噌汁は施設で作っていますが、その他の副食においては、外注です。食べることはとても大切なことだと感じる中で、食についての一連の工程、献立を考える、食事を作るといったことも行っていきたく思っているため、毎月「皆さんが食べたい料理の日」を設けて皆さんで考えていただきながら、それぞれの方が役割を持ちながら取り組んでおります。私達職員も一緒に出来る楽しさと喜びを感じ、そういった日を少しでも多く作りたく思っています。一般的に女性の方は母親として、妻としての役割をお持ちであり、実行機能障害がある中、何気なくさりげないフォローを行うことで「できた」という喜びや達成感を一緒に感じたり、自己有用感に繋がるように支援させていただいております。男性の方においても調理レクには率先して参加されますが、今回は男性の利用者様の視点で、男性利用者様だけの調理レク(the men's キッチン 男飯)を行いました。メニューはハンバーガーとミネストローネを作られ、女性の利用者様へ振舞われました。男性視点は初めてで、今後は継続して男性主体で行えるアクティビティの企画も行っていきたいと思っております。地域のお祭りで、近くその他施設がおばんざいをされており、利用者様と徒歩(散歩しながら)にてお邪魔しました。おばんざいでは、自分の食べてみたいもの、お祭りに参加されなかった方へのおみやげを(大判焼)を購入して、帰所時皆さんに配ってお茶をされました。

共同生活の場で、利用者様同士の関わりや見守り優しい声掛け、誰かを心配し合う関係が毎日微笑ましいです。

職員より色々とよく見ていらっしゃるのではないかと云うほど気づきが多く、教えて頂きながら学ばせて頂いております。12月は2ユニット合同でクリスマス忘年会を実施する予定としております。

・研修について

実施	10月	入居者にに基づき考えてみよう
	11月	○認知症ケアで1番大切なコミュニケーション ○リーダー向け研修～自身のスキルアップに向けて：自身を振り返る、見つめる、弱点・癖を知る

少しづつではあるが、勉強会を経て、考え方や関わり方が変わってきていると感じます。日頃のケアを基に、きちんとした知識や理解を持つと今までとの変化が出てきているように思います。声掛け一つであったり、なんでなのか？考えられるようになったり、こういうことなんだなと繋がったり、一つ一つゆっくり着実に皆で成長していけたらと思っております。その先に利用者様にどのような変化があったのか？どのような状態でいらっしゃるのか？私達の関わりで出来るようになったこと、笑顔が多く見られるようになったことが多く、それを見るときとても嬉しく感じます。

また、利用者様だけでなく、同職員に対しても、認知症があってもなくても皆が北陽を居場所とできるように、人を受け入れるように(長所も短所もその人らしさをそのまま)皆で施設を作り上げていきたいと思っております。

(2) 意見交換

◆出雲市高齢者福祉課

Q：若年性認知症の方は大きな問題なく落ち着いて生活されていますか？

A：入居前、本人を始めとし、ご家族、後見人、ケアマネージャーと何度も面談させていただきました。80代～後半～90代の方が生活される場で20才以上年の差のある本人に、どのように生活して頂くと良いか、また居場所がなく疎外感や孤独感が出ないか心配しておりました。「その人らしさ」を大切に、今までのアパートでの一人で生活されていた時同様の生活場面を切り抜きながら、集団の場、一人の時間を大切にいただきながら、最大限の力を発揮していただいております。自身のお母さんと仲良しでおられた為、年の離れた世代の方とも仲良く生活されながら、自身の居場所をしっかりと作られたように感じます。

Q：面会はどうされているんですか？

A：今のところ面会制限は行っておりません。インフルエンザやコロナが流行してきたので、今後状況によっては外出や面会を制限させて頂くことになるかと思いますが、やはりご家族様のお力は大きく、どなたでも施設に気軽にお越しいただけると、皆様の元気に繋がると思っておりますので、面会、交流はとても大切なことだと感じます。感染対策を行っていく中で、今後施設でインフルエンザやコロナが蔓延した場合、面会や外出は遮断するようになります。解除については主治医の先生と相談させていただきながらと考えています。

次回運営推進会議予定

令和7年2月20日(木)14:00～ 2Fホールにて

第 5 回 グループホーム北陽 運営推進会議

日 時 : 令和 6 年 12 月 19 日(木) 14:00～

場 所 : グループホーム北陽 2F ホール

案内先 : 出雲市役所高齢者福祉課、鳶巣コミュニティセンター、川跡コミュニティセンター
園山医院 院長(施設利用者様主治医)、ご家族様 2 名、ご利用者様

《 協 議 事 項 》

(1) 施設運営の状況報告

(2) 意見交換・質疑応答

(3) その他

次回運営推進会議 令和 年 月 日 () 時～

事例【若年性認知症】

◆63才 男性 要介護1

◆既往歴:重症筋無力症、若年性認知症(アルツハイマー型)

◆エピソード

3年前よりうつ状態が見られアルツハイマー型の認知症と診断された。

その後サービス付高齢者住宅で生活されたが、暴力・暴言があり施設より退居の運びとなり、

10月末グループホーム北陽へ入居となった。

入居前、担当ケアマネージャーとも何回も会議を行い、本人とも面談を行った。

施設での集団生活の場で80代の方が多く、20才以上の年齢差があることから、精神的な苦痛や疎外感や退屈などがあるのではないかと考えた時、本人にとって、北陽での生活がどうだろうか？と考えた。また、介護(誰かにお世話になる)と言うことに慣れていないことから、まずは本人の状態、様子を見守りながら、手探りすることとした。

～全施設で暴力・暴言には必ず何か理由があったはず～

なぜか？・・・

【若年性認知症とは？】

主な症状※個人差あり

○中核症状:記憶障害、実行機能障害、見当識障害

○行動・心理症状:うつ、幻聴など

考えられる本人の心情

・受け入れることが難しい・大きな不安や焦燥感、恐怖(自分に何が起きているのか？これまでの自分とは何かが変わっている。できていたことが出来ない、分からない。これからの自分はどうなっていくのだろう)・働き盛りの年齢である(金銭的なことや子供のこと)・もどかしさ、情けなさ

→精神的なショック、苦痛、うつ傾向が悪化する。

また、とり繕ったり、これまでの自分をなんとか保とうという気持ちでいらっしゃるように感じた。

◆北陽では・・・

こういった本人の心情やストレスを考えながら、本人が本人らしくここで生活できるように、本人の思いのままに今までの生活を活かした本人の1日の生活を本人に作ってもらうことにした。

〓記憶障害や見当識障害がある中で、今のところ大きな日常生活への支障は見られない。

可能な限り、自身でできることは(今まで1人で生活なさっていた時と)同じように行っていく。ここでのポイントとして無理強いはいしないこと。本人がしたいことを続けてもらうこと。やっていて難しいことがあれば、さりげなくフォローをしたり、一緒に行くこと。または、本人にお任せし見守ること。日頃から本人とのコミュニケーションにて、本人の話をよく聞くこと。を大切にした。

入居時、本人の居室のセッティングから全て本人のこだわりで行っていただき、毎日の掃除も自身でされています。(元々掃除好き)また、居室には洗濯竿も持ち込まれ、自身で洗濯を干し、たたんでタンスにしまわれる。

好きな時に好きな場所で過ごされながら、他者とコミュニケーションを図ったり、体操をしたり、居室で自分の時間を大切にされたり、自分のペースで生活されている。

一人暮らしが長く、食事作りもされていたことから、調理レクにも積極的に参加され、体操レク(競争ごと)など意欲的に参加されている。さまざまな役割を持って「本人のくらし」を自身で作っていただきながら、本人の意思決定を尊重しながら、本人が望まれる生活を目指している。

利用状況

令和6年 11月末

1F	お住まい地域	性別	年齢	要介護度	入居年月日	入居前
1	天神町	女	86	1	令和6年 2月5日	老人保健施設
2	天神町	女	82	3	令和6年 2月7日	病院
3	武志町	男	77	3	令和6年 11月26日	自宅
4	湖陵町	女	83	3	令和6年 5月1日	自宅 (ショートステイご利用)
5	大社町	女	87	2	令和6年 2月15日	自宅
6	古志町	男	82	4	令和6年 7月7日	自宅 (ショートステイご利用)
7	斐川町	女	86	1	令和6年 4月24日	自宅 (ショートステイご利用)
8	斐川町	男	70	4	令和6年 3月9日	病院
9	斐川町	男	92	3	令和6年 2月27日	介護付有料老人ホーム
			83	2.7		

2F	お住まい地域	性別	年齢	要介護度	入居年月日	入居前
1	武志町	女	92	1	令和6年 10月1日	老人保健施設
2						
3	塩冶町	男	63	1	令和6年 10月25日	サービス付高齢者向け住宅
4	松寄下	女	86	3	令和6年 6月10日	介護院
5	塩冶町	女	86	2	令和6年 11月27日	自宅
6	渡橋町	女	82	4	令和6年 2月16日	病院
7	斐川町	女	84	1	令和6年 8月25日	自宅
8	塩冶町	女	95	2	令和6年 2月13日	自宅
9	荻とつ町	女	91	2	令和6年 7月20日	ケアハウス
			85	2.0		

新規	…生活保護	90才以上	介3以上
	…後見制度		
	お住まいの地域		
	天神町	2	
	渡橋町	1	
	大社町	1	
	古志町	1	
	湖陵町	1	
	斐川町	4	
	松寄下	1	
	塩冶町	3	
	武志町	2	
	荻とつ町	1	
	合計	17	

行事等

【実施】	10月：men's クッキング the男飯 11月：秋の味覚
【予定】	12月：クリスマス忘年会 1月：正月（書初め、正月遊び）、七草がゆ

研修等

【実施】	10月：入居者に基づき考えてみよう（中核症状からのつまづき） 11月：〇認知症ケアの1番大切なコミュニケーション 〇リーダー向け研修～自身のスキルアップに向けて：自身を振り返る、見つめる、弱点・癖を知る～
【予定】	12月：権利擁護・虐待 1月：アクティビティーについて